

光学医療診療部

1 構成員

	平成21年3月31日現在
教授	1人
准教授	0人
講師（うち病院籍）	1人（1人）
助教（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	2人
合 計	4人

2 教員の異動状況

今野 弘之（教授）（H18. 4. 1～現職）

田中 達郎（講師）（H13. 9. 1助手；H18. 3. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成20年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（0編）
そのインパクトファクターの合計	14
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Suwa D, Konno H, Tanaka T, Urano T.: Intraperitoneal Infusion of Recombinant Plasminogen Activator Inhibitor Type 2 Induced Apoptosis in Implanted Human Colon Cancer and Inhibited its Growth and Liver Metastasis. *Anticancer Res* 28: 693-698, 2008.
2. Kawabata T., Mizuno T., Okazaki S., Hiramatsu M., Setoguchi T., Kikuchi H., Yamamoto M., Hiramatsu Y., Kondo K., Baba M., Ohta M., Kamiya K., Tanaka T., Suzuki S., Konno H.: Optical diagnosis of gastric cancer using near-infrared multichannel Raman spectroscopy with a 1064-nm excitation wavelength. *J Gastroenterol* 43: 283-290, 2008.
3. Yamamoto M., Kikuchi H., Ohta M., Kawabata T., Hiramatsu Y., Kondo K., Baba M., Kamiya K., Tanaka T., Kitagawa M., Konno H.: TSU68 Prevents liver metastasis of colon cancer xenografts by modulating the premetastatic niche. *Cancer Res.* 68: 9754-9762, 2008.

インパクトファクターの小計 [14]

(3) 総 説

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 花井洋行, 竹内健, 飯田貴之, 小林義隆, 渡辺文利, 阿部仁郎, 石丸啓, 中村利夫, 中村光一, 田中達郎: 活動期UCの内視鏡診断の実際. *消化器内視鏡* 20: 1199-1205, 2008.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Yamamoto M., Kamiya K., Tanaka T., Setoguti T., Kawabata T., Hiramatsu Y., Kondo K., Ohta M., Konno H.: Long-surviving case of advanced esophageal small cell carcinoma with a multidisciplinary treatment approach. *Esophagus* 5: 99-103, 2008.
1. 瀬戸口智彦, 田中達郎, 今野弘之, 川端俊貴, 山本真義, 近藤賢司, 太田学, 神谷欣志, 馬場恵: 内視鏡的に切除が可能であった巨大Brunner腺過形成の1例. *Gastroenterol. Endosc.* 50: 3040-3047, 2008

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 部科学省科学研究費	1件 (130万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)

(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	2件 (80万円)

(1) 文部科学省科学研究費

田中達郎(代表者) 基盤研究(C)消化管癌に対する新たな光線力学療法の開発 130万円(継続)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	1件
(3) 学会座長回数	0件	1件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

3) シンポジウム発表

1. 田中達郎, 近藤賢司, 今野弘之: 家族性大腸腺腫症(FAP)患者における十二指腸病変の内視鏡診断と治療. 第75回日本消化器内視鏡学会総会 2008. 5. 24. 横浜.

4) 座長をした学会名

1. 日本自己血輸血学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 田中達郎 日本消化器内視鏡学会: 評議員, 専門委員
2. 田中達郎 日本レーザー医学会: 評議員
3. 田中達郎 日本自己血輸血学会: 評議員, 編集委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリース数は除く)	0件	0件

(3) 国内外の英文雑誌のレフリース

J Gastroenterol (Japan) 2回

9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	0件